

こんにちは 庄内町議会



No.84
9月議会号
6.11.1



議会に 中学生が傍聴に 来ました

余目中学校三年生

関連記事 P22・P24

- ◆町の借金 5億円減額 〈決算〉 P.4
- ◆どう使われたか 〈決算特別委員会〉 P.6
- ◆12人が町政を問う 〈一般質問〉 P.13
- ◆開かれた議会へ 〈参考人からの意見〉 P.20
- ◆ようこそ議会傍聴へ 〈アンケート等〉 P.22
- ◆住み続けたい庄内町は 〈町民へのインタビュー〉 P.24

消防団員の定数 再び削減

議案

9月
定例会



定数減、だいじょうぶか

消防団の条例が一部改正された。主な改正として、消防団員の定数の削減等が決まりました。令和5年3月に消防団員の定数を80人削減したものの、今回再度80人の削減になります。

会期

9月3日(火)から
13日(金)まで
令和5年度
各会計決算の認定
8件

令和6年度
各会計補正予算
8件

専決処分
1件

条例制定
4件

条例設定
1件

契約案件
5件

人事案件
1件

事件案件
1件

発議
3件

以上
32件
原案どおり
可決

消防団員の定数の改正

現在の団員数と条例定数に乖離があるため変更するものです。

旧定員 830人
新定員 750人

主な質疑

現在の消防団員の団員数は何人か。

令和6年現在の消防団員数は、750人を切っている状況である。

有事の際、ポンプ車を動かせるのか。

ポンプの稼働に障害がないように、再編等も考えながら今後検討していく。

750人体制になっても、しっかり町民の生命・財産を守るのか。

定数削減によって消防団体制の方は、消防団幹部と事務局間で連絡を密にとりながら運営していく。

契約案件

体操センター解体工事請負契約

1 工事名	2 工事場所	3 工期	4 契約金額	5 契約の相手方
体操センター解体工事	体操センター	着工 議会議決の日 の翌日 完成 令和7年 3月24日	6050万円	庄内町狩川字東興野 80番地の1 株式会社狩川佐藤組 代表取締役 佐藤良一

主な質疑

解体の工事内容だが、建物解体部分と前の舗装の部分ははどうするのか。

現在舗装されている部分は残し、建物を解体した部分は舗装部分と同程度の高さで埋戻し、舗装はしない。

跡地利用についてはどうか。

具体的な利用については今後検討する。

人事

教育委員会教育長

令和6年9月26日で任期が満了することから、再任として提案されました。任期は3年です。

(賛成多数で同意)
再任 佐藤 真哉
(上朝丸)



3年間ありますがどうございました。2期目も皆様と協力して「チーム庄内町」として頑張りたいと思いますのでよろしく願います。

補正の ポイント 7月豪雨 激甚災害に指定



災害ゴミ、たいへんだ

令和6年度庄内町の一般会計補正予算（第2号）は、予算総額に収入支出それぞれ2億7462万円を追加し、総額126億5556万円となりました。

また、同補正予算（第3号）は、予算総額に収入支出それぞれ3億1528万円を追加し、総額129億7085万円となりました。

主な支出としては、7月25日からの大雨による災害復旧費2億4893万円、児童手当給付金6123万円、予防接種委託料の追加3540万円等です。

激甚災害に指定されたことにより、事業の90%以上が国より支出されます。

災害復旧費

2億4893万円

7月25日以降に発生した大雨被害の災害応急復旧工事、災害復旧工事を行います。

水門、幹線水路等の農業関連施設、立川線、寺沢線林道施設、町道や楯山公園などの公共施設、その他災害ごみの処分費や堆積土砂の撤去にあてられます。

主な内訳

農林水産業施設災害復旧費

1億6527万円

農地・農業用施設災害応急復旧工事で松の木第1、第2水門や片倉幹線水路、興屋生線沢幹線水路等7750万円、測量設計業務委託料4500万円、用水ポンプ用発電燃料費1080万円等追加されます。

公共土木施設災害復旧費

4110万円

町道北月山羽黒線、町道清川木野沢線等や河川の復旧工事に2363万円、測量設計業務委託料1691万円等の追加です。

その他公共施設・公用施設災害復旧費

4256万円

楯山公園災害復旧工事や興屋地内の土砂撤去費用に3976万円を追加します。

児童手当給付金

6123万円

令和6年10月から児童手当法の改正により、児童手当の支給範囲が拡充されます。

所得制限は撤廃され、支給対象年齢は、18歳到達後の最初の年度末までに延長され、第3子以降の支給額は、月1万5000円から月3万円に増額します。



子どもたちの将来に

予防接種委託料

3540万円

新型コロナウイルス感染症予防接種費用の一部を助成します。

助成期間は、令和6年10月1日から12月28日までの3か月間で、満65歳以上の方が該当します。また、満60歳から65歳未満の方も該当する場合があります。

町の借金 5億円 減額

歳入・歳出 前年比ともに減額

一般会計

賛成12人 反対1人

令和5年度の一般会計決算は、収入支出とも前年比減額となりました。物価高騰対策支援等の補正は、7回、地域経済の支援を行いました。町の借金にあたる町債現在高は、前年度より5億2410万円減の146億3433万円となりましたが、経常収支比率は95・8％と前年度より0・1ポイント、改善する結果となりました。

収入（歳入）

自主財源である町税は、個人町民税で給与所得・農業所得等は増額。固定資産税は課税標準額の減少により減額しましたが、町税全体では、前年度より増額となりました。

国庫支出金は前年度より、3億1千万円減額となり、寄附金についても、1億3千万円の減額となりました。

本のある美術館」(R6.5.2 グランドオープン)



内藤秀因作 「錦秋」

すので、合計値と割合に差異があります)

その他の交付金
6億8029万円 5.0%
地方消費税交付金ほか、各種交付金

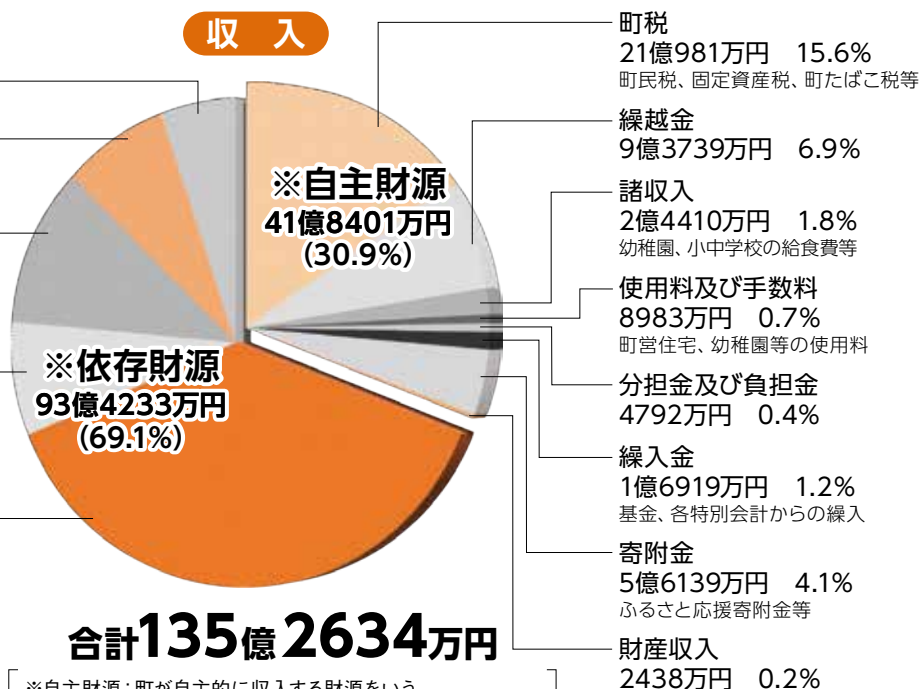
県支出金
10億1284万円 7.5%

国庫支出金
14億9570万円 11.1%

町債
10億4227万円 7.7%
国や金融機関からの借入金

地方交付税
51億1123万円 37.8%
町の収入で賄いきれない分に対する
国からの補填及び再配分

収入



※自主財源：町が自主的に収入する財源をいう。

※依存財源：国や県から定められた額を収入する財源をいう。

令和5年度 決算

町税は増加 寄付金は大幅に減少

特別会計・企業会計 下水道・ガス事業決算 赤字

特別会計

国民健康保険	〈収入〉 21億8111万円	賛成 全員
	〈支出〉 20億8898万円	賛成 全員
後期高齢者医療保険	〈収入〉 2億7842万円	賛成 全員
	〈支出〉 2億7412万円	賛成 全員
介護保険	〈収入〉 29億9030万円	賛成 全員
	〈支出〉 28億6271万円	賛成 全員
風力発電事業	〈収入〉 1億1567万円	賛成 全員
	〈支出〉 1億 791万円	賛成 全員

企業会計

水道事業会計(収益的収支)	〈収入〉 5億5592万円	賛成 全員
	〈支出〉 5億4831万円	賛成 全員
下水道事業会計(収益的収支)	〈収入〉 8億9998万円	賛成 全員
	〈支出〉 9億 171万円	賛成 全員
ガス事業会計(収益的収支)	〈収入〉 5億6018万円	賛成 全員
	〈支出〉 5億7311万円	賛成 全員

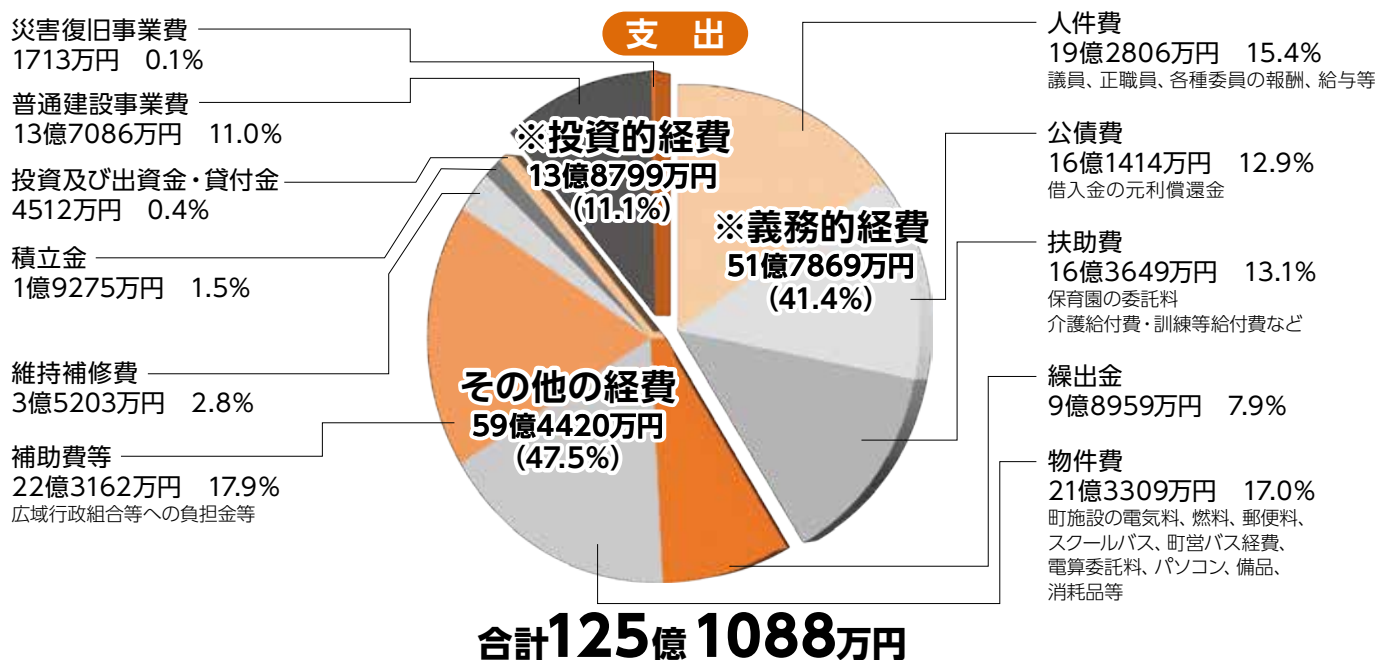
支出(歳出)

義務的経費では、前年度より1億2千万円の増額で、増加した主なものは扶助費の6千万円、公債費の4千万円等です。投資的経費では5千万円、その他の経費で3億4千万円の減額となりました。

「絵のある図書館、



(各予算額を10万円台で四捨五入しています)



※義務的経費：支出が義務付けられ、任意に節減できない経費をいう。
※投資的経費：施設など、財産として将来に残るものの経費をいう。

こんにちは庄内町議会です

私たちの暮らしにどう使われたのか

令和5年度 決算特別委員会

審査日 9月9日、10日、11日

一般会計、特別会計、企業会計

全8案件原案どおり認定

決算特別委員会とは

議会が承認した予算が適正に執行されたかを審査し、その行政効果や経済効果を住民に代わって評価します。審査の結果は後年度の予算編成や行政執行に生かされます。



委員長 加藤 将展
副委員長 阿部 利勝

全通告内容の一部を掲載しています

No	委員名	発言内容	担当課
1	工藤 範子	障がい者総合支援事業 敬老事業費 P.8 掲載 自殺対策事業費 小学校教育振興費・中学校教育振興費 P.8 掲載 酒田地区広域行政組合分賦金清算返還金 ○衛生費と消防費 審査意見書 むすびの記述	保健福祉課 教育課 環境防災課 監査委員
2	スルタン ヌール	鳥獣被害防止対策費 P.8 掲載	環境防災課
3	上野 幸美	定住促進空き家活用事業 7節 協力謝礼金 5,359,740 円 不登校等への対応体制	企画情報課 教育課
4	渡部 伊君子	動物愛護推進事業費 P.8 掲載 母子保健事業費 P.8 掲載	環境防災課 子育て応援課
5	吉宮 茂	地域活性化起業人委託料 やまがた家族丸ごと移住体験モデル事業委託料 移動型行政サービス構築業務委託料 鳥獣被害防止対策費 1,298,000 円	企画情報課 環境防災課
6	石川 武利	交通安全指導及び啓発費 P.8 掲載 社会福祉総務費 ○ひきこもり相談会及び連絡調整会議 放課後児童健全育成事業 休日の部活動の段階的な地域移行事業	環境防災課 保健福祉課 子育て応援課 社会教育課

総務・文教・厚生

全質疑内容は
議会ホームページの
中継録画で閲覧できます。



庄内町議会HP

No	委員名	発言内容	担当課
7	伊藤和美	職員研修費 予算の執行額 会計事務費 預金の状況 P.7 掲載 男女共同参画推進費 地域づくり関係事業費 定住促進対策事業費 保育園留学の成果は 社会福祉総務費 ひきこもり関連事業 児童福祉支援事業 ゼロカーボン推進事業 見直しの必要は	総務課 会計室 企画情報課 保健福祉課 子育て応援課 環境防災課
8	奥山康宏	保育委託事業 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 出産・子育て応援交付金事業費 ○産前の電話相談件数は	子育て応援課 保健福祉課 子育て応援課
9	阿部利勝	地域づくり関係事業費 P.8 掲載 鳥獣被害防止対策費 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金 学習田管理委託料 ○一定の基準は設けているのか	企画情報課 環境防災課 教育課
10	小野一晴	消防団のマイカー共済制度 学校管理費 ○庄内町中学校生徒派遣費補助金	環境防災課 教育課
11	齋藤秀紀	婚活支援事業 行政デジタル化推進事業費 P.7 掲載 ○移動型行政サービス構築業務委託料 がん対策事業費 施設整備費・設備整備費	企画情報課 保健福祉課 環境防災課

会計

預金の状況は

伊藤和美委員

問

有価証券分
が昨年度より増
えている。財産を増や
しているということは
町益になっているとい
う理解でいいのか。ま
た、利子収入が減った
理由は。

答

有価証券の場
合はその通り。
利子収入の減少は、貯
金額と金利の減少によ
るものである。

行政サービス

行政デジタル化推進
事業費

記載で誤解をまねくな

齋藤秀紀委員

問

移動型行政サ
ービス構築業務
委託契約において、契
約金額2580万94

答

決算報告書
「主要施策の成
果」の記載については、
より分かりやすい説明
となるよう努めたい。



タスク車両が行政サービスを出前します

地域づくり

公民館へのエアコン設置補助

阿部利勝委員

問

昨年の猛暑の中、集会施設エアコン設置の補助要望はなかったか。今後、高齢者活動とセットで補助するといった議論はなかったか。

答

1件の相談はあったが、既に設置済みの集落も多くあり、今後、自治会へのヒアリングを行いながら、エアコン設置への補助について慎重に検討したい。

交通安全

道路反射鏡の新設更新の周知は

石川 武利 委員

問

昨年度の道路反射鏡は新設2件、更新が7件であった。あくまでも申請で



エアコン、災害級の酷暑には必需品

鳥獣被害防止

クマ・イノシシ対策は

スルタンヌール 委員

問

クマやイノシシの被害状況と規模はどうだったか、また、捕獲対策の成果と課題は。

答

定期的な調査し、必要に応じて対応している。対応であるが、担当課で各地区及び集落の反射鏡の老朽調査について、巡回し調査しているのか。

ペット

狂犬病予防接種の周知を

渡部伊君子委員

問

狂犬病予防接種の周知に関しては、人間が狂犬病に感染し発病した場合、

答

出没した場合、関係機関に連絡し、目撃情報を基に現場を確認しながら連携して対応している。また、町民に対してはLINEや防災行政無線等で周知している。

敬老

賀詞・祝金の連絡は文書でせよ

工藤範子委員

問

100歳の賀詞、祝金はどうのような連絡をしているのか。また、高齢化に伴い対象者の増加が見込まれるとあるが、祝金を減額するのか。

答

電話で連絡していたが、今後は文書を併用し連絡したい。祝金の減額は今のところ考えていないが、贈呈方法は都度検討する。

子育て

個別健診受診率低い要因は

渡部伊君子委員

問

2歳児健診の受診率は、集団検診が95・9%に対し、個別健診が54・9%と低い。その要因は。

答

個別健診は、日程を定めておらず、希望制であること、主治医が町外であることも要因と考えられる。

教育

援助内容拡充せよ

工藤範子委員

問

小中の就学援助者は、小学生66人、中学生41人になっているが、援助者は県で何番目か。在学中は参考書や学習ノート等必要であり援助内容を拡充すべきでないか。

答

令和4年度は高位から4番目である。援助内容は精査したい。



親子で過ごせる時間、大事

全通告内容の一部を掲載しています

産業・建設

No	委員名	発言内容	担当課
1	工藤 範子	園芸特産生産安定対策費	農 林 課
2	上野 幸美	地域おこし協力隊事業費 園芸特産生産安定対策費 P.10 掲載 農業再生対策事業 新産業創造館管理事業 P.10 掲載 子育て応援住宅管理事業	農 林 課 商工観光課 建設課
3	石川 武利	北月山荘管理事業費 放牧場管理運営費 ブロック塀等撤去支援事業 P.10 掲載 工業振興対策事業	立川総合支所 農 林 課 建設課 商工観光課
4	阿部 利勝	農業委員会費 高齢者向け野菜集配事業業務委託料 新規就農者育成総合対策事業補助金 麦・大豆生産技術向上事業補助金 観光開発育成事業業務委託料 町道維持補修費 除排雪対策消耗品 P.10 掲載	農 業 委 員 会 農 林 課 商工観光課 建設課
5	奥山 康宏	農業振興企画費 園芸特産生産安定対策費 町道維持補修費 P.10 掲載	農 林 課 建設課
6	伊藤 和美	園芸特産生産安定対策費 P.10 掲載 ○スマート農業の推進は 庄内町木質ペレットストーブ等導入支援事業補助金 18 節 商工費 不用額 5,637,290 円 18 節 住宅関連 不用額 24,362,000 円 立川総合支所改修整備事業費の成果は	農 林 課 商工観光課 建設課 立川総合支所
7	吉宮 茂	町道維持補修管理工事 庄内町がけ地近接等危険住宅移転事業補助金 森林資源解析業務委託料 P.10 掲載	建設課 農 林 課
8	スルタン ヌール	共同利用加工工場等の6次産業化推進事業 ふるさと応援寄附金事業費 P.10 掲載	商工観光課
9	小野 一晴	庄内町認定農業者の会補助金 除雪作業委託料	農 業 委 員 会 建設課
10	齋藤 秀紀	庄内町花き種苗費支援事業補助金	農 林 課

全質疑内容は
議会ホームページの
中継録画で閲覧できます。



議会中継

農業林業

森林整備を図れ

吉宮茂委員

問

森林資源解析事業は、航空レーザー測量データを活用するものであるがこの事業の目的と運用方法はどうか。

答

民有林等の状況を把握し、森林組合等と協力して木材の活用・保全管理を進めていくものである。今後、測量データを基に森林経営管理制度の推進を図っていきたい。

スマート農業推進は

伊藤和美委員

問

人手不足を支援する中で、スマート農業の推進は欠かせない。園芸作物の生産意欲の減退を防ぐための支援は。



生かせ 森林資源

答

J A や県等と連携し、補助金制度の周知、新しい技術情報の共有や案内、指導を図りたい。

中小農家支援拡充を

上野幸美委員

問

新規就農者や大規模農家等への支援はあるが、大半を占める中小農家支援はない。基幹産業である農業の基盤強化のため、農家支援を拡充してはどうか。

答

農地を守る農家への支援として、関係団体と連携して考えていく。

防災

ブロック塀撤去の支援、事業の促進は

石川武利委員

問

特に地震による災害から町民の生命及び財産を保護するため、ブロック塀を撤去しようとする工事に係る費用について補助するとあるが、どのようなブロック塀なのか。

答

自宅から避難場所に通じる道路沿いのブロック塀が対象となる。

道路

木製の視線誘導標の理由は

阿部利勝委員

問

スノーポール破損個所に、木製の視線誘導標を通年で設置しているが理由はないか。また、木製の製品が古く、反射シールや町名も記載されていない。

答

除雪の危険箇所等の目印として設置した木杭について、視線誘導標の役割となりうる木杭を代替えとして設置している町名ステッカー等は今後検討したい。



夜間のために反射シールを

町道の草刈り路線広げよ

奥山康宏委員

問

町道の草刈りについて、草刈りしている箇所、何も刈っていない箇所と一律に統一されていない。除雪に関しては、町道をきれいに除雪しているが、草刈りに関してはそういった対応はされていない。なぜ、平等に草刈りをしていないのか。

答

草刈りの必要なのは町道については、業務委託や町の会計年度任用職員による草刈りを実施している農地に隣接する町道に關しては、生産組合等で対応していただいている箇所もある。

商工観光

クラッセ入居者刷新せよ

上野幸美委員

問

クラッセ貸工の条例には、利用許可期間5年以内とあるが、同じ入居者が継続している。本来の施設目的達成のため、新たな募集をすべきであるがどうか。

答

5年経過に併せ、利用者の公募を検討する。

ふるさと納税の見直しは

スルタンヌール委員

問

令和5年度のふるさと納税制度の見直し内容と、寄附者数に与えた影響と新規寄附者が少なかった原因と対策は。

答

対象経費が見直され、返礼品への寄附金額の値上げと広告費を抑制した。可能な範囲で※SEO対策等実施し寄附獲得に努めた。

No	委員名	発言内容	担当課
1	小野一晴	(株)イグゼあまるめに対する委託料等 ふるさと応援寄附金 ○過去に目的を指定した寄付の基金積み立ての使い道は	総務課 商工観光課 総務課 商工観光課 社会教育課



議会中継

両所管

No	委員名	発言内容	担当課
1	石川武利	令和5年度庄内町水道事業報告書 P.11 掲載 令和5年度庄内町ガス事業報告書 P.11 掲載	企業課

企業
会計



東北でトップクラスの安さ

答
給水収益を増
加させることに
力を入れたい。

問
経営の健全性
を示す経常収支
比率は、前年度比3・
4ポイント減となり、
過去5年間で最低の数
値となった。この改善
策はどうか。

石川武利委員

水道事業
経常収支比率
について

答
他の熱源に負
けず、ガス販売
量の増に努める。

問
経営の健全性
を示す経常収支
比率は経常損失を生じ
ており、単年度収支で
赤字となった。この改
善策はどうか。

石川武利委員

ガス事業
経常収支比率
について

次回 庄内町議会
12月定例会の会期は

12月3日(火)～10(火)の予定です

みなさまの傍聴をお待ちしております。傍聴は短時間でもできます。

※4階議場への昇降が困難な方は、エレベータをご利用いただけます。

なお、介助が必要な方は、議会事務局(TEL 0234-42-0189)へお申し出ください。

発熱など、体調不良の方はご遠慮ください。

インターネット

議会中継

配信中

庄内町議会のホームページからアクセスできます。
(9月定例会中継(LIVE)映像アクセス件数:1822件)

- 各地区のまちづくりセンターで生配信をご覧になれます。
- 会議後1週間程度で、録画配信をしています。
- スマートフォン、タブレットなどでも生中継、過去の映像を視聴できます。

① 庄内町議会検索



② トップページ画像下の

議会中継 をクリック

※ スマートフォンなら

令和6年 ライブ 全て

の ライブ ボタンをクリック
するなど。

学校給食の無償化を 求める意見書(要約)

学校給食は児童生徒の心身の健全な発達に資し、かつ児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で、重要な役割を果たしている。また、令和5年6月16日と令和6年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針」(骨太の方針)においても「学校給食無償化の課題整理等を行う。」としている。

家庭の経済状況にかかわらず、子どもの学び、成長する権利を保障することは社会全体の責任である。とりわけ、昨今の物価高騰によつて家計が圧迫されるなか、居住地域における教育負担の格差を最小限に留めるよう努力することは国の務めであり、学校給食の無償化は急がなければならない。

よつて、国において学校給食の無償化を早期実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年9月13日

衆議院議長 額賀福志郎 殿
参議院議長 尾辻 秀久 殿
内閣総理大臣 岸田 文雄 殿
財務大臣 鈴木 俊一 殿
文部科学大臣 盛山 正仁 殿
内閣府特命担当大臣 加藤 鮎子 殿
(こども政策)
山形県庄内町議会議長 石川 保 殿

一部修正 賛成多数で可決

9月定例会において、伊藤和美議員より「学校給食の完全無償化を求める意見書案」が提出され(賛成者:石川武利議員・阿部利勝議員・スルトンヌール議員・渡部伊君子議員)、総務文教厚生常任委員会に付託されました。委員会では、「完全無償化」の「完全」を削除するなど一部修正された案が出され、本会議において賛成多数で可決されました。

反対討論

「全額無償化の対案」を示す

齋藤 秀紀 議員
本町をはじめ山形県内すべての自治体が一歩、半額、全額の無償化は行っていることから、①学校給食は全額

庄内町議会からの意見書

賛成討論

給食無償化は町の公益

小野 一晴 議員

この意見書は、本町の無償化にとどまらず全国の無償化を求めるものである。だからこそ、各市町村で実施されるこだわりの給食や宗教の戒律から食事制限のある子どもの昼食を、保護者の責任による弁当食にするなど、柔軟な対応ができるように原文を修正したことの重要性を理解してほしい。現在、国で給食の無償化を前向きに検討しているが、かたや主要政党で党首選挙が行われ政権交代も取りざたされている今、改めて国の背を強く推す必要がある。また、本町が実施している半額無償化を全額無償化することは町の公益である。

議会からの「意見書提出」についての意見

- 町民や市民からの請願が、令和5年の9月定例会以降提出されていないなか、本定例会も含め3度目の意見書提出となり、全員協議会では次の2点が指摘されました。
1. 安易に賛成者になつてないか。
 2. 提出者と賛成者間で、意見の内容について十分に精査したか。



町民の暮らしやすさを求め

12人が 町政を問う

一般質問

9月5日～6日



庄内町議会HP



キッズチアダンスサークルCANDY

令和6年度 第20回庄内町芸術祭開幕記念事業

12人25項目の質問(★印を掲載)

- | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|------------------|-------------------|
| 吉宮 茂 議員 …………… P 14 | 五十嵐 啓一 議員 …………… P 14 | 工藤 範子 議員 …………… P 15 | 上野 幸美 議員 …………… P 15 | 渡部 伊君子 議員 …………… P 16 | 伊藤 和美 議員 …………… P 16 | ★ゴミの分別 | ★庄内町における福祉避難所の支援 |
| ★7月の大雨による被害状況と今後の対応 | ★町道の近江新田バイパスの舗装剥離 | ★カートソレイユの今後の運営 | ★空き家予防対策 | ★住民の参画と協働の推進 | ★7月25日の大雨被害 | ★困難な問題を抱える女性への支援 | |
| ★町長の政治姿勢 | | | | | | | |
| 奥山 康宏 議員 …………… P 17 | スルタンヌール 議員 …………… P 17 | 石川 武利 議員 …………… P 18 | 加藤 将展 議員 …………… P 18 | ★土石流・流木流下防止の緊急工事について | ★浸水常習地域の対策 | ★農業用水災害復旧費用負担 | ★災害復旧作業における担当課の連携 |
| ★集落内雨水の排水整備 | ★防災ボランティアセンターの運営 | ★鳥獣被害対策 | ★空き家特措法の改正による今後の対策 | ★ボランティア等の支援体制 | ★第3次総合計画 | ★管理不全土地・空き家の対策 | ★大雨被害復旧 |

12人の提言

一般質問 Q & A

土砂災害

復興対応は

町長 応急復旧工事を実施している



よしみや しげる 議員 吉宮 茂

問

7月25日から26日にかけての記録的な大雨は、本町

町長

庄内町が設置されて以降、最も大きな災害となった。



建物のそばにも土砂が

2次災害の発生防止の応急対策、復旧工事等について、国や県の指導を仰ぎながら着実に進めている。

一方、生活や産業では、被災された地域や町民、関係団体等の要望を聞き取りながら、一日も早く再建ができるよう取り組んでいる。

問

興屋集落の山地崩壊については、急傾斜地危険区域、土砂災害警戒区域の指定を県に働きかけるべきではないか。

町長

毒矢沢川、板敷沢川の件も含め国や県に対し相談に行くなど行動してきた経過にある。

今現在は、崩れた土砂や倒木の撤去作業の応急復旧工事を実施している。

道路整備

どうする道路の剝離

町長 再度新たな舗装を施工予定



いがし けいいち 議員 五十嵐 啓一

問

町道近江新田バイパス事業は、8年余りの工事期間を費やし、令和4年秋に地域の皆さんや多くの



開通して間もないのになぜ

利用者の期待を受けて、全面開通したが、翌年舗装面に亀裂や剝離が見つかった。開通して間もないのに、この状況に至ったことについて次のことを伺いたい。

(1)原因究明と町の管理体制に問題はなかったか。

(2)施工業者に対する責任をどう考えているのか。

町長

本事業規模の施工をする場合、財源や工期の問題から複数年になる。請負業者は入札で決定するため、複数年になることは一般的競争原理での結果であり、使用材料についても一般的な材料のみを使用しており問題は無いと考えている。

工事の施工は、現場責任者の指定や建設業法で規定する資格を有しているかなど、発注者である町が必要な確認をしており、技術的な問題もなかったものと考えている。

今後の対応を町と請負業者で協議した結果、請負業者側の負担で再度新たな舗装を施工することで合意している。

豪雨被害

農業支援を図れ

町長 必要な応援をしていきたい



くどう のりこ 議員
工藤 範子

済被害制度の活用で救済されるが、ネギ、枝豆、花の定植した物等やメロンは、収穫寸前で収穫することができなかった。

問 7月の豪雨で甚大な被害を受けた水稲や大豆は、共

戸沢村は、産業振興の面から農業経営ができるように、ハウス棟当り15万円、露地栽



この次、あつてはならない冠水

培は10アール当り1万円、農業機械は修理して使えるものに対し、共済制度から差し引いた修理代に、100万円を上限とした支援内容である。町でも支援事業を検討すべきでないか。

町長 県で、市町村と協調した支援

事業の補助制度を検討しており、農業者へ要望調査を行い、農協を通じて回答が上がってきている。

県の説明会を経て、今後整理していくことになるが、他の市町村の動向も考慮しながら必要な応援をしていきたい。

空き家対策

家のエンディングノート

町長 取り組みを進めていく



うえの ゆきみ 議員
上野 幸美

となる場合がある。活用可能空き家は、空き家バンク登録制度等、利活用する方法はあるが、自治会等で問題になっている声を聞く。実情はどうか。

問 核家族化が進み、高齢化世帯となり、その後空き家

上山市では、「わが家のエンディングノート」作成を呼びかけ普



重要 早めの相談を

及させている。元気なうちに課題に向き合うことは重要で、連絡先の明記等、空き家等の将来を可視化している。増加する空き家予防対策として、取り組んではどうか。

町長 昨年度、町の関係課と連携し、

町づくりセンター主催で同様の事業を行っている。今年度も町主催の終活セミナーを開催する予定だが、その中で、自分の家をどうするのかということも考えていただくといった取り組みを進めていき、空き家の抑制につなげていきたい。現在年1回程度の取組みとなっているので、今後は、増やしていかなければいけないと考えている。

12人の提言

一般質問 Q & A

豪雨災害

避難時の連携はどうか

町長 関係者の意見を参考に活かしたい

わたなべ いくこ 議員
渡部伊君子

問

7月25日、本町には大雨洪水警報が発表され、大きな災害となった。第一

学区においては、京田川の水位が上がり、落合集落には、余目第一まちづくりセンターに避難するよう「高齢者避難のお願い」が出された。今回のこの避難における対応と課題として、次の点についてどうか。

(1)町と余目第一まちづ



京田川 氾濫危険水位超過

くりセンターとの連携。(2)第一まちづくりセンターは福祉避難所となっているが、要配慮者が避難生活できる施設になっているのか。

町長 (1)今回の災害では、避難所を開設するまちづくりセンターへ連絡し、双方の職員が避難所の開設を行った。初めての避難所開設ということで、様々な課題もあったと認識している。関係者の意見を参考に今後の災害対策に活かしていきたい。

(2)国が定める基準を満たすものとして、指定避難所内の専用区画を指定福祉避難所と設定している。

今回の個別避難計画対象者と、支援者の関係や施設内スペースの確保、車中泊の避難者への声掛け対応について、徹底したい。



わからないゴミは担当課へ相談

問

インソールに内蔵されている電池が、ごみ焼却施設

において火災が発生したという報告があった。商品の複雑化により、ごみの分別がわかりづらくなっている。火災など事故が起きればごみの処理ができず、暮らしに大きな影響を与えかねないことから、以下の3点を伺う。

いとう かずみ 議員
伊藤和美

町長

ホームページ、LINEの活用を

ごみ分別 町民に分かりやすく

(1)ごみ処理による事故発生件数やケガの現状。(2)分別方法の啓発や周知。(3)ごみのリサイクルや減らすための取り組み。

町長

(1)酒田地区広域行政組合ごみ焼却施設では、本年5月に充電式電池が原因で火災が発生し、昨年9月もガス缶の混入による爆発があった。2件とも人がはなかつたが、年1・2件の原因不明の火災が発生している。

(2)毎年全戸に配布している「ごみ収集カレンダー」やホームページでの周知のほか、町公式LINEには分別方法の検索機能があるので活用いただきたい。

(3)*3R推進をホームページやチラシ配布で啓発、古紙・廃食用油・古着・小型家電の回収生ごみ処理機の普及推進等を実施している。

* 3R…リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）

集落内
雨水

排水整備 早急にせよ

町長 JRとの協議が必要



おくやま やすひろ 奥山 康宏 議員

問

集落内の側溝の整備はほぼ完了しているものの、

大雨になると水路が溢れ、住宅や倉庫に水が流入するのではないかと危惧される箇所が存在する。特に7月25日の大雨においては、JRの線路下を流れる水路では、管が細くなるため溢れてしまう水害被害が発生した。



側溝広げて

原因がはっきり特定される箇所については、関係機関と連携して、改善できるところから水路の整備をすべきでないか。

町長

集落内の雨水排水施設は、各集落からの要望に基づき作成した「集落要望等路線工事」により、計画的に整備を進めている段階であり、具体的には断面の小さい水路を大きい水路へ改修している。たびたび冠水する箇所は水路のバイパス化等で、一地点に雨水を集中させずに大きな排水路へと水を導いたり、浸水被害が起きにくく、又は軽減されるよう努めている。

JRが関係する場所とすれば、相当の年数の協議が必要となる。

防災減災

対策と対応は

町長 計画的に整備を行う



スルタン ヌール 議員

問

災害リスクを踏まえた避難場所の再確認や高齢者等

避難、自主避難者への対応はどうなっているか。

町長

今回の大雨は想定を超えており、一時避難所は、当該集落による検証、現地確認を経て変更ができる。町では災害等の警戒レベルに応じて避



備蓄品揃っているか

難指示等を発出するが、各自が最善の判断をすることが大前提で、平時からの備え、情報収集、防災訓練への参加が重要である。

問

豪雨災害時における自治体と町内会の連携状況や要望への対応、また、避難施設の防災資機材の整備状況と、今回の災害時に、実際の避難時に必要な設備や物資が整っているか。

町長

災害発災時は、自治会と連絡をとり、住民の避難について情報を共有し対応した。防災資機材は、品目や数量が十分でないものもあると思うので、今回の災害を機会に必要な資機材、数量を見直し、引き続き計画的に整備していく。

12人の提言

一般質問 Q & A

獣害対策

地域住民と連携せよ

町長 補助制度の周知を図る

いしかわ たけとし 議員
石川 武利

問 獣害は、農地や農村が「地域のエサ資源の供給場

所」と野生動物に認識されたために発生する問題である。近年は、人の生活圏への侵入とエサ資源のない市街地に迷い込む事例が増えている。ここで大切になるのが地域対策だと思う。獣害による地域被害の原因を正しく把



人里までクマが

握し、適切な対策と体制づくりをすべきである。次の3点について町の考えはどうか。

(1) 畑地等の状況把握。

(2) クマ等獣害対策訓練。

(3) 電気柵の共同活用。

町長 (1) 鳥獣被害防止対策協議会で、有害鳥獣を誘引する原因を可能な限り取り払う等、状況の調査・分析、より効果的な被害防止対策を検討していく。

(2) クマと出会わない対策を徹底する。町のホームページや広報での特集記事で習性、対処について周知してきたところである。

(3) 電気柵は効果的な対策の一つであり、引き続き補助制度の周知を図り、集落単位やグループ等、地域ぐるみで電気柵等の設置・管理ができるよう支援していきたい。

災害復旧

的確な指示行ったのか

町長 最大限の努力した

かとう かつのぶ 議員
加藤 將展

問

今回の集中豪雨で、最上川と支流の堤防復旧工事（7箇所）は、被災翌日から昼夜を問わず実

施され、ほぼ一週間で仮堤防が完成した。一方、本町の興屋集落では、大量の土石流が沢から溢れ出し、民家等に被害が出たが、本格的掘削工事の開始は約一か月後であった。この間、台風5号、7号、10号が発生し、土石流による2次被害が懸念されたが、この工事で



集落を土砂流が襲う

手の遅れについて、町長は的確な指示を行ったのか、また、危機意識は十分にあったのか。

町長 災害発生の際、日現地を見に行き、できる限りの対応は即座に行った。民家への土砂流入は、個人での対応はできないので、迅速な対応を業者をお願いしたところである。

庄内・最上地区が甚大な被害を受け、国としても優先順位を決めて対応している。担当課でもいろいろな対応をしている中で、タイムラグはあったかもしれない。台風対応についてもできる限りの対応を指示した。町としては最大限の努力をしており、一日も早い復旧復興を目指す気持ちは一緒であることを理解いただきたい。

第3次 総合計画

ビジョンを示せ

町長 町民と意見交換している



さいとう ひでき 議員
齋藤 秀紀

問

第3次総合計画（R8～R17）の策定にあたり、町長の

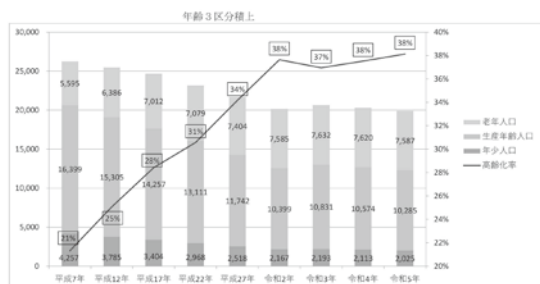
はどんな将来像を描いているのか。

町長

策定にあたり町の課題や将来像をみんなで共有し、暮らしやすく住み続けたい地域社会を築いていくため、町民の皆さんの知恵やアイディア

など幅広い意見を取り入れたい。

現在、町民の参画と協働として、総合計画町民提案会議「しょうない希望ミーティング」を開催し「庄内町の未来」をテーマに意見交換している。今年度は特に、町民の声に耳を傾け、共に将来像を描きながら、更に魅力あふれる町となるよう進んでいきたい。



※令和2年までは国勢調査のデータ、令和3年度以降は住民基本台帳のデータ

(人口推移と高齢化率)

課題は明らかだ



荒廃空き家 (イメージ)

こうなる前に

荒廃空き家

特措法で対応すべき

町長 早急に検討し対応したい



おの かずはる 議員
小野 一晴

問

管理不全空地・空き家問題を解決するため法改正され

た。法には、利害関係者（町民）が裁判所に申請するものと、町の裁量で対応できる特措法がある。解体の対応をした場合は、その費用を所有者から回収することは当然であるが所有者不明で回収できない場合は、国から半

町長

法律が変わり、内容の学習不足があったので、顧問弁護士等にも相談し、間違いない対応を今後していきたい。

制度・法律を内部的にも確認したうえで、町民の不利にならないようにしっかりと対応していくべきだと思っている。どういうやり方がいいのか、早急に検討し対応していきたい。

町民の声を

開かれた議会へ

第9回参考人の意見を聴く会

決算特別委員会において2人の町民に、参考人として議場で意見を述べてもらいました



庄内町議会HP

※要約、抜粋で掲載

《氏名》^{たかはし}高橋久美
《集落》前田野目



担当議員 伊藤和美

花き農家が抱える 現状と課題

(議員)
はじめに、経営内容
も含めた自己紹介をお
願います。

夫と二人 花栽培24年
(参考人)

夫と二人で米と花を
作っており、私は主に
花づくりを中心に仕事
をしております。花栽
培を始めて24年になり、
栽培していた花はトル
コギキョウとストック
とダリアです。花は8
棟のハウス(684坪)
で栽培しており、JA
庄内たがわを通し市場
に出荷、また、地元
の産直でも販売してい

す。田んぼの耕作面積
は約8haです。

(議員)

高橋さんの栽培した
ダリアが、2019年
やまがたフラワーフェ
スティバルで農林水産
大臣賞をいただいたと
お聞きしました。ダリ
ア栽培についてお聞き
します。

田んぼの受託が増え
ダリア断念
(参考人)

2016年、土壌障
害を回避するためハウ
ス2棟で栽培をはじめ
ました。その後、コロ
ナ禍でダリアが売れな
い事態になりました。
そんな中、SNSで全
国でも有名なフローリ
スト(花屋)の方とつ
ながり、産地直送とい
うことで販売させてい
ただきました。SNS
のつながりは、これか
らの花づくりになくて
はならないツールの一
つと考えます。
しかしながら、今年
から、田んぼの受託が

増えたことや作業の人
手不足などで、ダリア
の栽培をあきらめるこ
とになりました。

(議員)

庄内町の花を全国に
アピールするにはどん
な工夫が必要だとお考
えですか。また、花農
家の現状をお話くださ
い。

全国に誇れる栽培技術
絶やしてはならない
(参考人)

生産者と消費者をつ
なぐ観光事業も魅力的
であり、SNS発信に
つながることができ
ると思います。
庄内町の花栽培は全
国に誇れる栽培技術が
あります。これは決し
て絶やしてはならない
ものだと思います。人
件費等も高騰している
ため、思うように人を
雇うことができない現
状です。そのために農
業次世代人材投資資金
等を活用したいと考え
ますが、ハードルが高
いと感じています。



全国に誇れる美しい花栽培

(議員)
今後、庄内町の花農
家を継続するためには
どのような事が考えら
れますか。

花づくりに特化した
人材育成を
(参考人)

花づくりに特化した
人材育成はどうでしょ
うか。受け入れを希望
する花農家に研修の委
託を行い、花づくりを
学びたいと考える人を、

独立して花栽培で収益
を上げていけるまで育
成するのです。稼げる
花農家を育てていくこ
とが、後継者育成につ
ながるのではないでし
ょうか。

最後に、米農家の田
んぼの受託が増えるこ
とで、花づくりを諦め
てしまうことはあつて
はならないと切に思い
ます。



がんばっている子どもたちのために

《氏名》佐藤 正美
《集落》家根合



担当議員 石川 武利

庄内町スポーツ振興 基金の活用について

(議員)

質問に入る前に自己
紹介をお願いします。

卓球ひとすじに

(参考人)

私は22歳から余目中学校卓球部指導を15年間、スポーツ少年団指導を10年間務めた後、町内にラージボール卓球の組織を立ち上げました。庄内町スポーツ協会では会長を務めており、7年目になります。

(議員)

「庄内町スポーツ振興基金」の活用について

てお話しください。

基金の柔軟活用を

(参考人)

庄内町には、現在約2300万円の「スポーツ振興基金」があります。

活用について、二つの提案をします。

一つ目は「中学校部活動地域指導者の謝金の増額」についてです。

かつて中学校の指導者に謝金の制度はありませんでしたが、現在は制度化され、年間一人あたり2〜3万円支給されるようになりました。しかし、令和8年度から、休日の部活動の責任者は、顧問の先生から地域指導者に移行され、部活動は「クラブチーム扱い」となります。

その受け皿団体の選択肢の一つとして、町が推奨している「総合型スポーツクラブコミュニティ」がありますが、保

護者負担増が懸念されます。そこで基金を活用して、指導者への謝金を増額していただければと思います。

二つ目は「全国大会等出場時の選手激励金並びに指導者派遣費」についてです。

本町は、中学校体育連盟又は、中学校文化連盟が主催し、又は共催する大会については、町からの補助金として交付されています。ただし、他の大会は交付対象外となっており、派遣費等は「余目中学校教育振興会」及び「立川中学校教育後援会」からの支出となっており、併せて基金から支出をお願いします。

(議員)

このスポーツ振興基金の維持継続の面からご意見があればお聞きしたい。

ソフト面に活用を

(参考人)

「余目中学校教育振興会」及び「立川中学校教育後援会」の両組織からは、地域住民の理解を得ながら、町からも会員増PR活動等のお力添えをお願いしたいと思います。

「子どもは町の宝です！」スポーツに携わる子ども達（保護者）が負担するのではなく、スポーツ振興基金が創設された経緯からも、スポーツ施設の増改築等のハード面に活用することだけでなく、ソフト面に活用されることを望みます。

月山龍神マラソンについて

(議員)

「月山龍神マラソン」についてお聞きします。

清川グラウンドの整備を

(参考人)

今後発展継続して

ゆくための提案です。

一つ目ですが、現行会場で継続する場合、会場の旧清川小学校グラウンドは、過去の実績では降雨でグチャグチャとなり、グラウンドを舗装する必要があると思います。

会場変更を検討しては

二つ目ですが、スポーツイベントとして庄内町をPRする場合の規模拡大に向けた会場移設についてです。狩川地区の選手待機施設は、立川中学校体育館、立川小学校体育館、狩川町づくりセンターの3施設があります。

狩川町づくりセンターの駐車場を会場にすれば、降雨時の懸念も解消されます。スポーツイベントとして規模拡大を目指すならば、狩川地区に変更すること提案します。また、開催期日の変更も検討の余地があると思います。

余目中学校3年生 137人傍聴



3年4組のみなさん

○ようこそ議会傍聴へ（アンケート等）

今定例会は、9月3日から13日まで開催されました。一般質問は5日、6日の2日間、決算特別委員会は、9日から11日までの3日間に行われました。沢山の方々と、余目中学校の生徒が傍聴に来ていただきました。

議員へ

- ・ 質問する時、早口で、ぼそぼそと話して何を言っているか分からない。ハッキリ大きい声で言ってもらいたい。
- ・ 議員も質問の質と、町民が何を求めているかを考えて欲しい。議員同士の私語は慎んで欲しい。
- ・ 議員が町のためにしっかり話し合いしていることが分かった。
- ・ 話し方がハキハキして聞き取りやすく、質問するときに、「お伺いします」と丁寧語で言っているのが良かった。

議会全体へ

- ・ 花き農家の方の話は、とても参考になった。
- ・ 議会のやり取りが少し難しかった。
- ・ 立川地区に、もっと金と力と知恵を入れて欲しい。
- ・ 声が時々聞こえなかった。もう少しはっきり言って欲しい。
- ・ 議会の質問も町の説明も良かった。無駄な時間がなく、スムーズで素晴らしいかった。
- ・ 庄内町で課題となっていることを知って良かった。大事な言葉を強調すると人にも伝わりやすいと思った。
- ・ 議会の真剣な話し合いの様子を生徒に見せることが出来て良かった。生徒の話し合い活動の参考になったと思う。また、将来の庄内町の人材育成のためにも、このような機会を頂けてありがたかった。

が良かった。

- ・ 庄内町として取り組んでいる事業は、指定管理料や委託料だけの報告ではなく、1つの事業として収入・支出の内訳をしっかりと把握すべきである。
- ・ 復興に向けて徹底的に話し合って解決しようというのが伝わってきた。
- ・ 具体的な地域名を挙げて説明しているのが良かった。
- ・ 空き家対策についての内容がわかりづらかった。
- ・ 自然災害への取り組みや鳥獣被害について、とても勉強になった。
- ・ 質問するとき丁寧でかつよかった。町の代表の方々は答え方も適切ですごいと思った。
- ・ しっかり話していて庄内町を安心して任せられると思った。

その他

- ・ 議題に対して双方が適切に話し合っていたし、発言のスピードがスムーズでわかりやすかった。
- ・ 議会で質問する方も答える方も、良く考えて話していることが伝わってきてとても驚いた。問題の解決策に対してもデメリットがあるので、大変だなと思った。
- ・ 災害ボランティアセンターの質問で、他の社会福祉協議会との連携が、しっかりと行われているのは初めて知った。他にもSNS等で、ボランティアの募集を行っていたようですが、町

9 月定例会を傍聴して (原文要約・抜粋)

議会より

一般質問、決算特別委員会のやりとりについて、様々な意見を頂きました。
ご批判をうけるような内容の意見については、真摯にうけとめなければならぬと感じております。

これからもご意見を参考にさせて頂きます。



- ・内放送等の方が多くの人を知り、参加してくれるのではないかと思った。
- ・声が低くよく伝わらなかった。ネットの中継のほうが良かった。
- ・町職員の勉強不足、甘さがよく分かった。
- ・方言が多く聞き取りづらい。
- ・ハキハキと、標準語でお願いしたい。
- ・用語がわからない。
- ・初めて傍聴し、傍聴の機会を得て大変良い勉強となった。
- ・町の防犯対策について知ることができた。
- ・一つひとつの質問に答えて、解決すべき問題にしっかり取り組んでいた。
- ・聞き取りづらかったので議員を映すテレビに、音声をあげて欲しい。
- ・議会の内容が良いと思った。
- ・寝ている人がいた。
- ・熱く議論があつていて、面白かった。
- ・具体的施策の答えの内容が良かった。町民によりそった考えが良かった。



3年5組のみなさん

令和6年9月定例会 傍聴者数 184人

3日(火)	議案等審議	0人
4日(水)	議案等審議	0人
5日(木)	一般質問	124人
6日(金)	一般質問	57人
9日(月)	決算特別委員会	2人
10日(火)	決算特別委員会	1人
11日(水)	決算特別委員会	0人
12日(木)	休会	
13日(金)	議案等審議	0人

アンケート集計結果(184人中)

① 傍聴にきてよかった	123人
② 勉強になった	65人
③ おもしろかった	23人
④ 緊張感があった	49人
⑤ 議会が頑張っているのがわかった	63人
⑥ 町の動きがわかった	41人
⑦ 議会のやりとりがわかった	73人
⑧ 議会のやりとりがわからない	62人
⑨ 質問の主旨がわからない	8人
⑩ 答弁が適切でない	3人
⑪ ネット中継で十分だと思った	14人
⑫ 議会の熱意が伝わらなかった	6人

(12項目・複数回答)

町民へのインタビュー



荒木健太さん
(廿六木)



池田亜輝さん
(高田麦)



前田啓慈さん
(松陽)



荒木そらさん
(沢新田)

中学3年生の皆さんの
住み続けたい庄内町は？

庄内町けっこう好きかも



問 庄内町は住みやすい
ですか。

好きだし住みやすい

そらさん 1・2小学区と違い少々不便ですが、田んぼが多く、空気も澄んでいて、多様な植物とのふれあい等、子どもたちにとっては良い環境です。

啓慈さん 庄内町は好きだし住みやすい。大学進学や就職で、一旦は町を離れることになるかもしれないが、家族を持ったら、田舎だけど風景もよく、子育てを考えて庄内町に住みたいと思います。

亜輝さん けっこう好きです。庄内町は子育てがしやすい町だと思っし将来も住みたいです。コンビニも近くにあり快適に暮らしている。住みやすい町だと思います。

拝啓 先日は議会傍聴ありがとうございました。今回、「将来も住みたい庄内町」をテーマにお話を伺いできればと思います。受験勉強や自分の夢を追うことに精一杯で、「庄内町のこと？それはあなたの仕事のじゃないですか」と論破されそうですが、よろしくお願い申し上げます。
敬具



校長室にて

問 将来どのような町になつてほしいですか。

大人になつても住み続けたい町に

そらさん 資格のとれる学校とか就職先を増やしてほしい。

啓慈さん 夜遅くまで学習できる施設とかがない

く、教育の部分が弱いのもっと教育に力をいれて貰いたい。自然災害に関しては、安全・安心日本一の町をアピールしてほしいと思います。

亜輝さん 若者が遊べる施設を増やしてほしい。子育て支援として、子どもが産みづらいという環境を庄内町から変えていけば、町外からも人が呼べるのではないのでしょうか。

健太さん 大人になつても住み続けたいという庄内町になつてもらいたい。便利な施設、就職先を増やし子どもを産んでも安定して暮らしていける町になつてほしいと思います。

問 わが町にこれが欲しい、これがいらない。
学習塾や遊ぶ場所が欲しい

そらさん 4小学区にスパーや学習塾が欲しい。あと、スポーツでもマニアックな競技施設を作れば鶴岡や酒田から人が呼べるのではないのでしょうか。

啓慈さん 夜が暗く田んぼ道に照明を増やして欲しい。高規格道路の入り口と出口の十字路に信号が必要ではない

でしょうか。
亜輝さん 町に風車をもつと増やして欲しい。もつと遊べる施設が欲しいです。
健太さん イオンやマックとかの全国チェーン店が増えたら便利に過ごせるのではないのでしょうか。いろいろなものとして、空き家です。スパーが県道を挟んで二つあるけど、もう一つは別の施設のほうが利便性がよいように思います。

4人の意見
「議会傍聴をしてみたいです！」
中学生議会をやってみ

花き提供

庄内町花き振興会より議場に生花を寄贈いただきました。



最近、今までに経験したことのない豪雨と東日本大震災を思わせる地震が頻繁に起こっています。マスコミでは被災地の状況を連日のように報道していました。

9月定例会は3日から13日の日程で、9人の議員から、7月25日の豪雨災害に関する質問がありまし。庄内町でも、農作物の被害に対する災害復旧支援策としての調査が行われています。災害に遭われた皆様が一日も早く日常生活が送られますようお祈りします。同様に今回の教訓を生かし、町民の安心安全の確保につなげることをお誓い申し上げます。

発行人

議長 石川 保
議会広報常任委員会

委員長 阿部 利勝
副委員長 渡部 伊君子
委員 石川 武利
委員 スルタン ノール
委員 奥山 康宏
委員 伊藤 和美